

## 基礎ゼミナール(基礎ゼミナールⅠ)

### 基礎ゼミナール(基礎ゼミナールⅠ)

2単位(必修)1年(前期)

石井健二・教授/社会創生学科

**【授業目的】**現代は視覚表現時代であると言われている、言語を主とした情報伝達から、画像や図表を含めた「ビジュアル・コミュニケーション」が新しい情報伝達法としてクローズアップされてきている。それは「読むこと、考えること」から「見ること、感じること」の人間の視覚に直接訴える情報伝達といえる。ここでは画面構成の基礎について学ぶ。また色彩についての体験学習を行う。(基本的なところでは、同授業は課題解決・探求型学習の性格を有している。)

**【授業概要】**構成の基礎について考察する。

**【キーワード】**画面構成

**【先行科目】**『キャリアプラン入門Ⅰ』(1.0)

**【関連科目】**『科学と人間』(0.5)

**【履修上の注意】**「基礎ゼミⅠ(講読)総論」参照 講義は総合科学部マルチメディア B棟1階講義・実習室にて行う。」

**【到達目標】**

1. 「基礎ゼミⅠ(講読)総論」参照
2. , 本講義ではコミュニケーション能力を養成することを目的としています。

**【授業計画】**

1. テキストを題材として、以下の論題について議論する。
2. 受講生による発表を中心授業を進める。
3. 1点による構成について
4. 3点による構成について
5. 1本の線による構成について
6. 3本の線による構成について
7. 2面分割について
8. 3面分割について
9. 寒色と暖色による構成
10. 記号について
11. 木炭デッサン(幾何形体を描く)
12. 鉛筆デッサン(幾何形体を描く)
13. デッサンはどう描かれたか
14. デッサンと科学的要素
15. レポート提出
16. 総括授業

**【成績評価】**課題と期末レポート及び、授業への取組み状況などをもとに総合的に評価する。

**【再試験】**行わない

**【教科書】**講義の中で紹介する

**【参考書】**講義の中で紹介する

**【授業コンテンツ】** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218504>

**【連絡先】**

⇒ 石井 (マルチ B-203, 088-656-7165, [ishii@ias.tokushima-u.ac.jp](mailto:ishii@ias.tokushima-u.ac.jp)) **MAIL** (オフィスアワー: 木曜日 昼休み)

**【備考】**

- ◇ 平成22年度は金曜日 前期の3・4講時開講
- ◇ 講義はマルチメディア B棟1階 講義・実習室で行う。

## 基礎ゼミナール(基礎ゼミナールI)

2 units (compulsory) 1st-year(1st semester)

KENJI Ishii · PROFESSOR / DEPARTMENT OF CIVIL AND ENVIRONMENTAL STUDIES

**Target)** 現代は視覚表現時代であると言われている、言語を主とした情報伝達から、画像や図表を含めた「ビジュアル・コミュニケーション」が新しい情報伝達法としてクローズアップされてきている。それは「読むこと、考えること」から「見ること、感じること」の人間の視覚に直接訴える情報伝達といえる。ここでは画面構成の基礎について学ぶ。また色彩についての体験学習を行う。(基本的なところでは、同授業は課題解決・探求型学習の性格を有している。)

**Outline)** 構成の基礎について考察する。

**Keyword)** 画面構成

**Fundamental Lecture)** “キャリアプラン入門I”(1.0)

**Relational Lecture)** “科学と人間”(0.5)

**Notice)** 「基礎ゼミ I(講読) 総論」参照 講義は総合科学部マルチメディア B 棟 1 階講義・実習室にて行う。」

**Goal)**

1. 「基礎ゼミ I(講読) 総論」参照
2. , 本講義ではコミュニケーション能力を養成することを目的としています。

**Schedule)**

1. テキストを題材として、以下の論題について議論する。
2. 受講生による発表を中心授業を進める。
3. 1点による構成について
4. 3点による構成について
5. 1本の線による構成について
6. 3本の線による構成について
7. 2面分割について
8. 3面分割について
9. 寒色と暖色による構成
10. 記号について
11. 木炭デッサン(幾何形体を描く)
12. 鉛筆デッサン(幾何形体を描く)
13. デッサンはどう描かれたか
14. デッサンと科学的要素
15. レポート提出
16. 総括授業

**Evaluation Criteria)** 課題と期末レポート及び、授業への取り組み状況などをもとに総合的に評価する。

**Re-evaluation)** 行わない

**Textbook)** 講義の中で紹介する

**Reference)** 講義の中で紹介する

**Contents)** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218504>

**Contact)**

⇒ Ishii (203, +81-88-656-7165, [ishii@ias.tokushima-u.ac.jp](mailto:ishii@ias.tokushima-u.ac.jp)) MAIL (Office Hour: 木曜日 昼休み)

**Note)**

- ◇ 平成 22 年度は金曜日 前期の 3・4 講時開講
- ◇ 講義はマルチメディア B 棟 1 階 講義・実習室で行う。